



取扱説明書〔カメラ編〕V1.4

Nexus D7500 / Nexus D7200 共通

このたびは、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に本書〔カメラ編〕並びに別冊子〔ハウジング本体編〕をよくお読みいただき十分ご理解のうえ、Nexus ハウジングを安全に正しくお使いください。お読みになったあとも、大切に保管してください。

カメラをハウジングにセットしたら、水中で使用される前に必ず、全ての操作部が確実に操作できることを確認してください。

取扱説明書で使用している画像やイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

a n t h i s

目 次

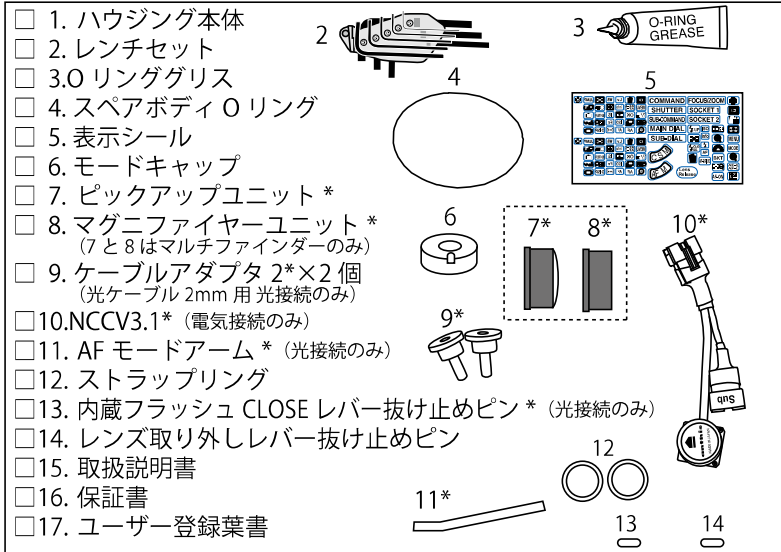
パッケージ内容の確認	1
ユーザー登録	1
必ずお読みください	1
保証書について	1
各部の名称と主な機能	2~5
主な仕様	5
セッティングの基本 D7500	
1 カメラの準備	6
2 カメラのセット	6
3 電源スイッチの操作	6
4 ISO ボタンの操作と解除	7
5 露出補正ボタンの操作と解除	7
6 光接続	8
7 電気接続	9
補足説明	
・内蔵フラッシュ CLOSE の機能を止める	10
・内蔵フラッシュ OPEN の機能を変更する	10
・レンズ取り外しボタンの機能を止める	11

Nexus D7500 をお使いになる前に

この度は、Nexusハウジングをお買い上げいただきありがとうございます。
当説明書は Nexus D7000 シリーズに対応しています。
お使いになる前に、以下のことを行ってください。

●パッケージ内容の確認

以下のものが、パッケージに含まれているか確認してください。



⚠ 注意
☞ パッケージ内容に誤りがある場合は下記へご連絡ください。
(有)アンティス
〒444-2137
愛知県岡崎市
藪田 1-16-1
☎ 0564-25-3937

●ユーザー登録

ユーザー登録葉書は必要事項を記入して、必ず投函してください。
この葉書によってお客様は本製品のユーザーとして登録されます。

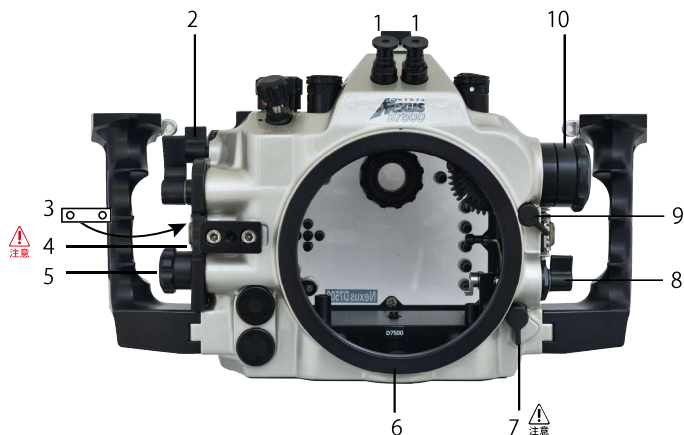
必ずお読みください



- 安全にご使用いただくために取扱上の注意は大変重要です。よくお読みになり十分ご理解されてから、ご使用されることをお願いいたします。
- 潜降を始める前に浅いところで、水漏れがないか、正常に操作できるか必ず確認してください。
- 水漏れ事故を起こした場合のハウジングやカメラ、レンズの損害、撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- ハウジングやカメラ、レンズの為の保険『アンティスセイフティプラン』をご用意しております。ご質問やご希望のある方は、別紙連絡先へお問い合わせください。

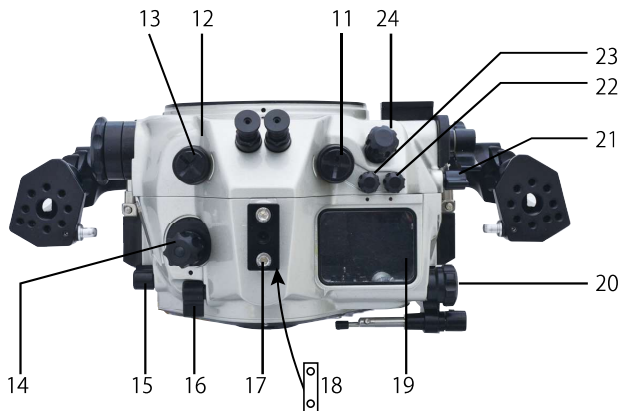
保証書について

- 保証規定をよくお読みください。
- 期間はお買い上げ日より1年間で日本国内のみ有効です。
- 保証書の再発行はいたしません。大切に保管してください。

各部の名称と主な機能



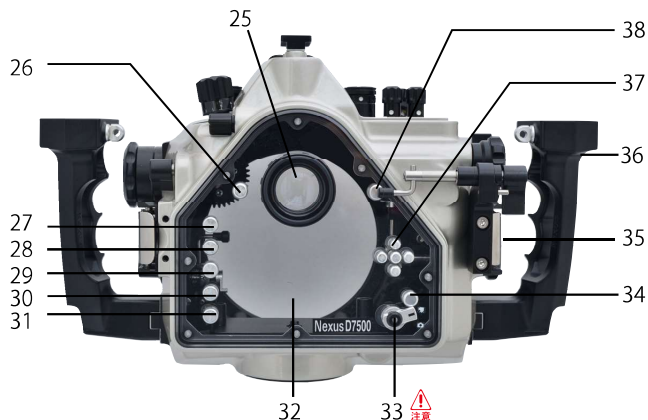
- 1 光ソケット1・2（光接続）
付属品のケーブルアダプタを差込み、光ケーブルを接続し、内蔵フラッシュの発光を外部ストロボに伝達します。（▶本書 P8_光接続参照）
- 2 シャッターレバー
手前に引いてシャッターボタンを操作します。
- 3 防触亜鉛プレート
意図しない腐蝕を防ぐために、本体とTスライドベースの間に挟み込まれています。
- 4 Tスライドベース 
Nexus アーム（別売品）などのアクセサリが取り付けられるようになっていきます。外径の大きいフィッシュアイポートなどを取り付ける場合は外してください。Tスライドベースとポートが干渉してすき間が生じるため、防水機能が失われます。
- 5 サブコマンドノブ
サブコマンドダイヤルを操作します。ノブを回して各種設定を行います。
- 6 Oリング接触面
ポートのベースOリングがあたる面で防水に重要な箇所です。傷、ホコリなどを防ぐために移動、運搬、保管の際はボディーキャップ（別売品）で保護してください。
- 7 フォーカスモードセレクトレバー
フォーカスモードセクターを操作します。
＜重要＞カメラをセットする際に、カメラとレバーの設定を合わせます。
- 8 レンズ取り外しレバー
レンズ取り外しボタンを操作します。
（▶本書 P11_レンズリリースの機能を止める参照）
- 9 内蔵フラッシュ OPEN レバー（光/光&電気接続標準装備）
 ボタンを操作して、内蔵フラッシュを上げます。
アームの交換により、AFモードボタン（電気接続標準装備）あるいは、BKTボタン操作に変更することができます。（▶本書 P10_内蔵フラッシュ OPENの機能を変更する参照）
- 10 フォーカス/ズームノブ
単焦点レンズのマニュアルフォーカス操作をします。ズームレンズでは、ズーム操作をします。レンズに合ったギアを選び取り付けてください。




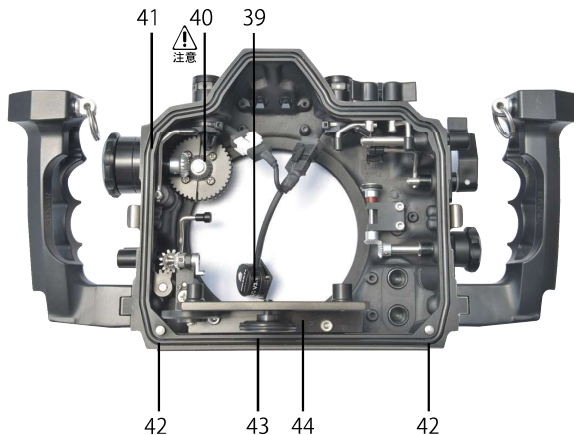
- 11 電気ソケット 1 (電気接続 選択機能)
ニコノス型 5 ピン対応ストロボ同調ソケットです。5 ピン端子の接続は、ピンの配置に注意してシンクロコードを差し込んでください。(▶本書 P9_電気接続参照)
- 12 電気ソケット 2 (電気接続 選択機能)
2 灯めのニコノス型 5 ピン対応ストロボ同調ソケットです。
- 13 シンクロキャップ
ソケット内部を保護するキャップです。シンクロコードを接続する時以外は外さないでください。
- 14 撮影モードノブ
撮影モードダイヤルを操作し、モードの切り換えをします。カメラにモードキャップ→本書 P1 付属品 6. が必要です。(▶本体編 P3_ 図 2・P7_ 図 18)
- 15 再生レバー
再生ボタンを操作します。
- 16 内蔵フラッシュ CLOSE レバー (光 / 光 & 電気接続標準装備)
内蔵フラッシュを収納します。収納後は、アームを元の位置に戻してください。ポップアップ時に邪魔をして発光不良となる場合があります。(▶本書 P10_ 内蔵フラッシュ CLOSE 機能を止める参照)
- 17 T スライドベース
- 18 防触亜鉛シート
- 19 LCD ウィンドウ
表示パネルの情報を見る窓です。
- 20 メインコマンドノブ
メインコマンドダイヤルを操作します。ノブを回して各種設定を行います。
- 21 動画撮影レバー
動画撮影ボタンを操作します。
- 22 露出補正ボタンノブ
露出補正ボタンを操作します
- 23 ISO ボタンノブ
ISO ボタンを操作します。
- 24 電源スイッチ
カメラ電源の ON/OFF を操作します。(▶本体編 P6)



キャップが外しにくい場合はコイン等で緩めてください。反対にコイン等で締める場合は締め過ぎに注意してください。行き止まりまで締めたら、ほんの少し戻してください。



- 25 **ファインダー**
ノーマルとマルチから選択できます。マルチファインダーはインナーユニットをセットします。(▶本体編 P9_インナーユニットのセット参照)
- 26 **削除ボタン**
- 27 **MENU ボタン**
- 28 **ヘルプ/プロテクト (WB) ボタン**
- 29 **拡大 (QUAL) ボタン**
- 30 **縮小 (測光モード) ボタン**
- 31 **info ボタン**
- 32 **モニターウインドウ**
見やすい大型のウインドウは Nexus の特長です。大きな視認性を持ち液晶モニターを確実にサポートします。
- 33 **ライブビューセレクター・Lv ボタン** 
レバーを回して静止画 / 動画の設定をします。カメラをセットする際に、ボタンの指標をカメラの設定に合わせてください。位置合わせをしないでリアボディを閉めると、操作ができないだけでなくすき間が発生し大変危険です。(▶本体編 P7) 中央の黒いボタン押してライブビューの ON/OFF を操作します。
- 34 **i ボタン**
- 35 **ラッチ**
左右 2 箇所のでフロントボディとリアボディを固定します。
- 36 **グリップ**
スクリュー 1 本で簡単に着脱できます。上面には Nexus アームなどのアクセサリを取り付けるためのネジ穴が設けてあります。
- 37 **マルチセレクターボタン**
マルチセレクターの上下左右と中央の OK ボタンを操作します。
- 38 **外部拡張 AE-L/AF-L ボタン** (別売アクセサリ)
グリップから手を離さずに、レバーでボタンを押すことができます。



- 39 NCC V3.1 (Nexus カメラコネクタ) 電気接続のみ
カメラと電気ソケットを接続します。(▶本書 P9_ 電気接続参照)
- 40 2モードギア
標準の 40 モードと大口径対応の 30 モードの 2 段構造になっています。モードはレンズの径に応じて設定します。(▶本体編 P13_2 モードギアの取り扱い参照)
- 41 ボディ O リング
密閉性や防水性を確保します。取り扱い方によっては防水機能を損なう場合があります。(▶本体編 P17~P18_O リングの取り扱い参照)
- 42 ボディロックピン
フロントとリアボディの合わせガイドです。左右にあります。
- 43 カメラホルドスクリュー
カメラを固定するネジです。三脚ネジ穴に取り付け、簡単にカメラの着脱ができます。
- 44 ベースプレート
カメラを正確に位置決めします。カメラ、レンズからの振動を確実に受け止めます。裏面に、2モードギア(写真 40)のカバーを保管するホルダーが備わっています。(▶本体編 P11_ カバーギアホルダーの使い方参照)

注意
AF-S VR 105mm F2.8 レンズの使用は、カメラをセットする前にカバーギアの取り外しが必要です。フォーカスアイドラギアと干渉してカメラが正しい位置にセットできません。

■主な仕様

適応カメラ : ニコン D7500

主な材質 : 耐蝕アルミ合金鋳物

寸法 : (W×H×D) 約 317×175×138mm

重量 : 約 2,122g (ハウジング+グリップ) 陸上

実用耐水深 : 75m

1 カメラの準備

インフォ画面の自動消灯を〔しない〕に設定します。

カメラの初期設定は〔する〕です。この状態では、**info** タンを押してもインフォ画面が表示されません。

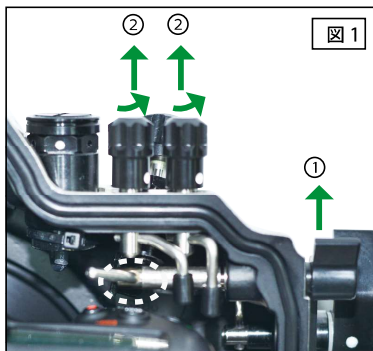
☞詳しくは、D7500 使用説明書セットアップメニュー〔インフォ画面の自動消灯〕を参照してください。

2 カメラのセット

カメラをセットする際は、

- 2-1 電源を OFF にしてください。
- 2-2 内部の部品が邪魔にならないようにします。

- ①動画撮影アームの先端を上に向け挟み込まないようにします。
- ②ISO ボタン、露出補正ボタンのノブは引き上げ、右に回してアームの先端がカメラに接触しないようにします。☞図-1



3 電源スイッチの操作

- 3-1 D7500 のメインスイッチプレートの爪は1本です。スイッチの溝に爪を合わせて、ノブを回します。

☞図-2

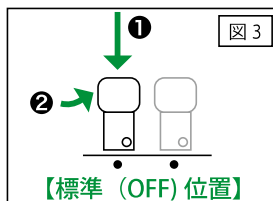


図 2

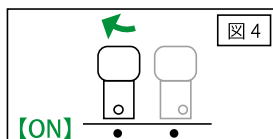
4 ISO ボタンの操作と解除

ノブの指標（以下白印）と本体の指標（以下黒印）を合わせると、ISO ボタンが押し込まれます。

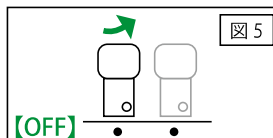
- 4-1 ノブを止まるところまでさげ、右に回します。☞図-3



【ON】 ノブを左に回し、白印を本体の黒印に合わせます。指標が合っている間は ON の状態が維持されます。☞図-4



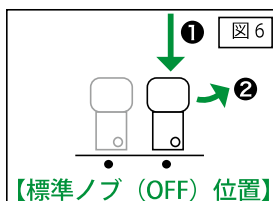
【OFF】 ボタンを放す場合は、ノブを右に回し元の位置に戻します。誤作動を防ぐため、操作終了後は、アームの先端を、ボタンから離しておいてください。☞図-5



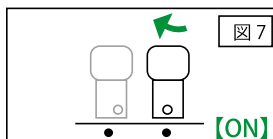
5 露出補正ボタンの操作と解除

ノブの白印と本体の黒印を合わせると露出ボタンが押し込まれます。

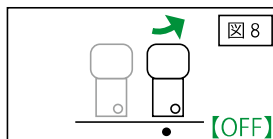
- 5-1 ノブを止まるところまでさげ、右に回します。☞図-6



【ON】 ノブを左に回し、白印を本体の黒印に合わせます。指標が合っている間は ON の状態が維持されます。☞図-7



【OFF】 ボタンを放す場合は、ノブを右に回し元の位置に戻します。誤作動を防ぐため、操作終了後は、アームの先端を、ボタンから離しておいてください。☞図-8

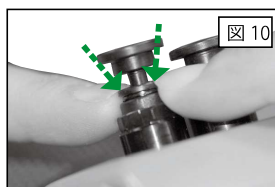


6 光接続 光ケーブルの接続

- 6-1 ケーブルアダプタの取り付け。
不用意に光ケーブルが外れないように、ケーブルを差込む前に、光ソケットのプラグに付属のケーブルアダプタを差込みます。☞図 9



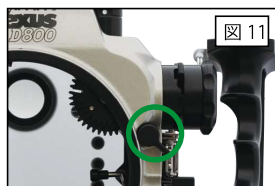
標準付属品は、2mm ケーブル用です。ケーブルアダプタは差込むとロックされます。この状態でアダプタを回したり、引き抜いたりしないでください。プラグ内で切断され、外せなくなる場合があります。



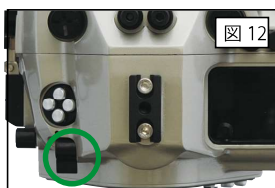
ケーブルアダプタの取り外しは、プラグの口元を爪あるいはプラスチックのへらなど堅い物で下に押して、ロックを解除してください。☞図 10

▶内蔵フラッシュ OPEN/CLOSE 操作方法

- 6-2 内蔵フラッシュを上げる
内蔵フラッシュ OPEN レバーでフラッシュボタンを押して、ポップアップさせます。
☞図 11



- 6-3 内蔵フラッシュを収納する
内蔵フラッシュ CLOSE レバーでカチッと音がするまで下げます。収納したら、レバーを元の位置に戻してください。アームの位置によっては、ポップアップの妨げになり、発光不良となる場合があります。
☞図 12

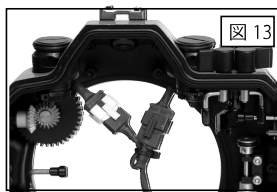


7 電気接続 ニコノス5ピン対応の電気ケーブルを接続

- 7-1 電気ソケット内側のコネクタ部に NCCV3.1 を接続します。☞図 13

カチッと音がするまで確実に接続してください。

コネクタには「メイン」「サブ」の区別があり、メインを接続したソケットがメインソケットです。i-TTL 調光対応のストロボでは、TTL 調光が可能です。これ以外のストロボでは、X 同調のみ可能です。



サブソケットは X 同調のみです。
ストロボが 1 灯の場合は、メインソケットに接続してください。

取り外しは、リリースレバーを軽く押しながら、コネクタを抜いてください。

- 7-2 NCCV3.1 をハウジングの外に出し、レンズに注意しながら、ゆっくりカメラを入れます。☞図-14



- 7-3 NCCV3.1 をカメラのアクセサリースューに接続します。☞図-15

片手を添え、シューの奥まで確実に差し込みます。

コードが邪魔をしていないか確認します。
不確実な接続はストロボが作動しないばかりか、ボディ合わせ面にすき間を発生させることもあり、危険です。



内蔵フラッシュ CLOSE の機能を止める

CLOSE が不要な場合には、機能を止めることができます。
CLOSE アームを付属の CLOSE レバー抜け止めピン（カメラ編 P1 付属品 13.）に交換してください。

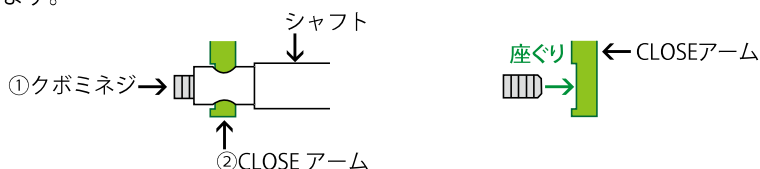
<手順>

- ①のクボミネジを 2mm の六角レンチでゆるめる。
- ②の CLOSE アームを抜き取り、ピンを取り付ける。



ピンが無いとレバーが脱落し、防水機能が失われます。

CLOSE 機能を再開するときは、アームの座グリ（段になった平な部分）にネジを固定してください。座ぐり以外の場所では、ゆるむことがあります。



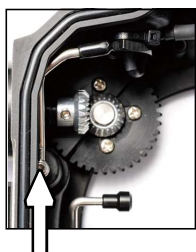
内蔵フラッシュ OPEN の機能を変更する

内蔵フラッシュ OPEN は、⚡ ボタンの他に、AF モードボタンあるいは BKT ボタンに変更することができます。これらの機能を操作するには、アームの交換が必要です。BKT ボタンアームは「別売品」です。

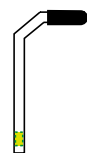
<交換手順>

- 操作機能を選択します。
- 2mm の六角レンチで、ネジをゆるめアームを抜き取り交換します。
ネジは、アームの座ぐりに固定してください。

アームの向き



ネジ



内蔵フラッシュ OPEN ボタン
BKT ボタン



AF モードボタン

a n t h i s

有限会社 アンティス

〒444-2137 愛知県岡崎市藪田 1-16-1

TEL : 0564-25-3937

FAX : 0564-25-2205

<http://www.anthis.co.jp>

*改善により仕様および外観の一部を予告なしに変更することがあります。

*取扱説明書における本文および写真などの無断転載、複製を禁じます。